

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	福祉城西学園テロルⅡ		公表日	令和 8年 4月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		用途でスペースを分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、事業の目的に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	4		児童との対峙時間と関係前、関係後に職員で清掃している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別室の開放、パーティションで仕切った簡易的な個別スペースでクールダウン、フライバレーの確保を行っています。	パーティションではない個別スペースを増設したいと思っています。
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	4			
	7	保護者向け拜観室により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の見学等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	朝礼で、支援についての意見を話し合っている。朝礼では、業務内容や希望について聞き取り見直し等を適宜に行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		第三者による外部評価は、現時点では行っていません。
	10	職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等での研修を実施する機会が確保されているか。	4		午前のオンライン研修は全員参加、対象での研修は該当者、代表者が可能な限り受けけるようにしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや状態を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等サービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画作成会議を行っている。不在の職員には会議録の回覧を行っている。	
	15	こどもの適切な行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		在籍で受けられた発達検査の結果等を保護者から共有していたら良かった時は参考にしています。
	16	放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービス提供すべき児童」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		プログラムMTGを行いチームで活動プログラムづくりを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	3		※1 放課後等サービス計画は、こどもの状態やニーズに応じて柔軟に変更できるものである。固定化しないよう工夫している。 ※2 放課後等サービス計画は、こどもの状態やニーズに応じて柔軟に変更できるものである。固定化しないよう工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の目的や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	2	2	日前日に進捗の振り返りや放課後等サービス計画の振り返り、共有している。気付いた点を共有している。そのことも踏まえて終了後の打ち合わせを行っている。	退社時間が異なるため役割の振り返り、共有になることもある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の経緯・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の発達の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		基本活動ではレジャーワークアウト、イフスト（運動）、クッキング、地域活動などを実施し、発達検査の結果やマッピングで結果に即ち向き調整を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をうながすための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	児童発達支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	4		区域幹事センター、自治協議会、利用者の放課後等サービスと連携を支援、児童の発達支援が実現できるように努めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との関係共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの学習状況の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連携）を適切に行っているか。	4			
	29	放課前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援センター等との間で情報共有と相互理解を深めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後利用クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		利用が高校生、中学生なので年齢に合った交流が難しく取り組む機会がなかったが、内容を吟味して、機会をつくりたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		参加できていません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対比力の向上を図る観点から、家族に対して家庭支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			ご契約時にお伝えをしている。
	37	放課後等サービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等サービス計画」を話し合いながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の理解を得ているか。	4		個別支援計画書の変更時に支援内容の説明と同意を求めている。	
	39	児童等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な支援を行っているか。	4		電話、連絡帳、公式LINE、電話等で相談に対し助言、情報、支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			きょうだい同士の交流が実施できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			こどもや保護者から苦情いただいた内容については早急に対応するように心がけている。
	42	定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		連絡は毎月発行、HP、SNS等で活動・イベントの様子をお伝えしている。	
	43	個人情報取扱に十分留意しているか。	4		顔付きやネット上で個人ファイル等の個人情報が記載された書類は管理保管している。	
	44	母会のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	4			高齢化に伴い高齢者に事業参加が、今年度、高齢者マップ作りを取り組むためため事業の事業文化等に地域をの招きたいと考えている。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、所定マニュアル、他対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		感染症対策マニュアルに沿った訓練を行っている。	
	47	避難訓練計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		地震や火災を想定した訓練を行っている。	
	48	事前に、避難や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	4		チェックシートに前回の記入をおこなっている。てんかん発作がある方への対応等も確認している。	
	49	食料アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		朝食、おやつ等の提供はしていないがクッキングや外出時の飲食場所でのメニューについては事前に確認をおこなっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく事前説明について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	4			ヒヤリハットに該当する事例はなかったが、なりうる原因があることが起きた際には職員が当該こどもの振り返りを行い、保護者への報告も行った。
	53	虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			外部研修を受けた。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか。	3	1		